

敦煌は河西回廊の最西端のオアシスの町で、沙州とも呼ばれています。その名のとおりに広い砂漠に囲まれています。砂漠の南には祁連山があります。西には中国最大の砂漠、カラマカン砂漠があります。マカンはウイグル語で「出られない」と意味で、北塞山があります。



郭嘉（日本語）
秦斌峰（汉语）
中村裕子（订正）
日汉对照



甘肃省导游考试指定用书（教材）

甘肃案内

精编甘肃导游词



甘肃教育出版社

甘肃省导游考试指定用书（教材）

郭嘉（日本語）
秦斌峰（汉语）
中村裕子（订正）

精编甘肃导游词

日汉对照



 甘肃教育出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

精编甘肃导游词: 日汉对照/郭嘉, 秦斌峰编; (日)
中村裕子订正. —兰州: 甘肃教育出版社, 2009.7
ISBN 978-7-5423-2078-0

I. 精… II. ①郭…②秦…③中… III. 导游—解说词—
甘肃省—日、汉 IV. K928.942

中国版本图书馆CIP数据核字 (2009) 第 114246 号

责任编辑: 邓玲玲

装帧设计: 徐晋林

精编甘肃导游词(日汉对照)

郭嘉(日本語) 秦斌峰(汉语) 中村裕子(订正)

甘肃教育出版社出版发行

(730030 兰州市南滨河东路 520 号)

www.gseph.com 0931-8773255

天水新华印刷厂印刷

开本 880 毫米×1230 毫米 1/32 印张 9.875 字数 260 千

2009 年 8 月第 1 版 2009 年 8 月第 1 次印刷

印数: 1~5 000

ISBN 978-7-5423-2078-0 定价: 20.00 元

序

多彩甘肃拥有着丰富的旅游资源,积淀着深厚的文化底蕴,聚集着众多的民族。甘肃是中华远古文明的重要发祥地,众多民族繁衍生息的摇篮,丝绸之路的咽喉孔道,历代王朝经营西北的战略基地,中西文化交流汇集之处。在这样一个人文荟萃,物华天宝的地方旅游,应该是人生最有收获的生活体验,也会是难以忘怀的精神享受和幸福记忆。

甘肃旅游曾经辉煌和繁荣。在改革开放初期,旅游业作为一种外事接待工作的媒介,逐渐进入人们的视野,被人们认可和接受。这时的旅游业刚刚起步,但由于甘肃拥有敦煌莫高窟、鸣沙山月牙泉等世界知名的文化古迹和自然景观,在西北又拥有坐中四联的地理优势,海内外旅游者纷至沓来,特别是日本客人,把敦煌当作人生中第一次旅游的首选之地,丝绸之路游辉煌一时。

甘肃旅游也出现过阵痛,随着国家优先发展东部沿海地区战略的实施,甘肃经济社会发展的落后使甘肃旅游逐渐步入了低谷,进入了艰难发展的阵痛阶段,从原来的全国第7位逐年下降到现在的第28位。

甘肃旅游正坚韧地走向崛起和复兴。从2001年实施西部大开发战略以来,国家对西部加大了投入力度,交通和城市建设等外部基础条件有了较大改善,甘肃旅游具备了加快发展的条件;省委、省政府高

度重视旅游业的发展,先后出台了《甘肃省旅游条例》和《甘肃省人民政府关于进一步加快发展的意见》等政策和措施;全省各地发展旅游业的热情高涨,目前有 13 个市州把旅游业确定为当地经济发展的战略产业、重要产业或者龙头产业,全省旅游产业的发展逐步迈上规范、科学、稳定和可持续发展的轨道。

《精编甘肃导游词》(日汉对照)是由我局培训中心高级讲师秦斌峰和多年从事日语导游工作的郭嘉两位同志编写的。秦斌峰同志从事教育工作 20 余年,特别是在从事旅游教育培训工作的 11 年中,独著或者合作编写各类教材 10 余本,为全省旅游教育事业做出了自己的贡献。郭嘉同志从事日语导游 10 余年,常年奔波在丝绸之路线上,用自己娴熟的语言为日本游客提供导游服务。他们根据多年来从事旅游工作的基本经验和导游人员在工作中的现实需求,结合日本游客来我省旅游时最想知道和了解的心理需求,他们历时两年有余,编写成了这本书。本书不仅填补了甘肃导游日语教材方面的空白,也为广大日本游客提供了一本了解甘肃的好书。

我原非旅游工作者,对陇上旅游和人文史迹知之甚少,然心仪陇上风物久矣。如今有缘成为一名旅游工作者,忙里偷闲登临凭吊,登西陲雄关而见秦月,叩明清古钟而闻唐韵,每每逸兴遁飞,感触丛生。

陇东窑洞里香喷喷的小米粥相伴着浓浓的秦地乡音,让人想起华夏先祖艰难开创农耕文化的遥远身影;纵贯河西走廊的秦、汉、明长城遗迹,叫人恍见霍去病、匈奴单于往来驰逐的马蹄烟尘;河州古镇上林立的清真寺与忙碌的小作坊,让人想起元时遍布天下的穆斯林商人、工匠和明代茶马互市情景;拉卜楞寺的红墙金顶,甘南草原赛马盛会上的万马奔腾,使人想起这个马背民族的坎坷来路……陇原大地,真可谓是一座没有围墙的历史、地理、民俗、旅游博物馆。

异国他乡的朋友们今生有志行万里路来到多彩甘肃,亲睹这些历史的遗存、造化的奇迹、民间的风情,感天地之辽阔,发怀古之幽情,沐乡土之清风,固为人生一大乐事;倘不能躬引,借助这本图文并茂的中

日文对照本的导游词,不也能增见识、开胸襟,满足壮游情趣么?

书成之后,邀我作序,思绪所至,有感而发,是为序。

黃周會

甘肃省旅游局党组书记、局长

二〇〇九年七月二日

目 录

蘭州空港から泊まるホテルまでのご案内	1
从兰州机场到下榻宾馆的讲解	10
蘭州市の概況	16
兰州市概况	23
黄河鉄橋	29
黄河铁桥	32
白塔山公園	34
白塔山公园	37
五泉山公園	39
五泉山公园	43
炳靈寺石窟	46
炳靈寺石窟	54
敦煌の概況	59
敦煌概况	65
シルクロード	69
丝绸之路	74
匈奴族の物語	77
匈奴族的故事	82
莫高窟	85
莫高窟	95
鳴沙山と月牙泉	101

鳴沙山和月牙泉	108
陽関	113
阳关	119
玉門関	123
玉门关	128
漢代長城	132
汉代长城	135
嘉峪関市の概況	137
嘉峪关市概況	139
嘉峪関関城	142
嘉峪关城楼	150
懸壁長城	155
悬壁长城	157
万里の長城第一墩	158
万里长城第一墩	160
魏晉壁画墓	161
魏晋壁画墓	165
酒泉の概況	168
酒泉概況	170
酒泉公園	172
酒泉公园	175
酒泉の鐘鼓楼	177
酒泉钟鼓楼	179
酒泉夜光杯工場	181

酒泉夜光杯厂	184
張掖の概況	186
张掖概况	191
張掖馬蹄寺石窟	195
张掖马蹄寺石窟	200
張掖大仏寺	203
张掖大佛寺	208
張掖木塔	210
张掖木塔	212
武威概況	213
武威概况	216
武威文廟	218
武威文庙	225
雷台漢墓	228
雷台汉墓	232
羅什寺の塔	235
罗什寺塔	237
西夏碑	239
西夏碑	241
天水市の概況	243
天水市概况	246
麦積山石窟	248
麦积山石窟	259
伏羲廟	266

伏羲庙	269
李広墓	271
李广墓	273
夏河のラブロン寺	275
夏河拉卜楞寺	281
慶陽市の北石窟寺	286
庆阳北石窟寺	289
涇川王母宮石窟	291
泾川王母宮石窟	293
南石窟寺	295
南石窟寺	296
空港への送別の辞	297
前往机場的欢送词	300
参考文献	302
后记	303

蘭州空港から泊まるホテル までのご案内

はるばる日本からお越しの皆様、今日は、どうもお疲れ様でした。中国では“友あり、遠方より来る、また楽しからずや”という古い言葉がありますが、この言葉に言われたように心から歓迎の気持ちを伝えたいとおもいます。ようこそ蘭州空港へいらつしやいました、ここで、わたしはうちの旅行社×××旅行社を代表して、皆様のご来訪を心から歓迎いたします。

私は今回、皆様のガイドを担当させていただくことを、とてもうれしく思います。楽しい旅のために一生懸命がんばります。いいサービスを提供し、すべてのご要望を満足させていただきます。皆様どうぞ、ご安心してください。旅行中、何がわからないところがあれば、どうぞ、遠慮なくおっしゃってください。

これから蘭州空港から市内まで移動します。空港から市内まで75キロ離れていますが、所要時間は1時間10分ほどで、到着後、まず、泊まるホテルをご案内いたします。そして昼食を召し上がってから蘭州市内の×××と×××ご案内致します。今回蘭州で一泊します。

ここでちょっと自己紹介させていただきます。わたしは×××ともうします。名字は××で、名前は××で、×××旅行社の日本語のガイドでございます。はじめまして、どうぞよろしくお願い致します



ます。ドライバーさんは×××さんで、今まで20年の運転経験を持っています。ベテランの方ですので、どうぞご安心してください。

楽しい旅のために皆様のご協力をさせていただきたいと思います。よろしくおねがいいたします。先に感謝の意を表します。(拍手)まことにありがとうございました。

蘭州空港はまた中川空港とも呼ばれています。この空港は中国でラサ空港の次、二番目に街から遠い空港です。市内まで75キロ離れて、大分遠いですね。蘭州市内は盆地なので、細長い所です。両側は山に挟まれて、空港を修築する条件に恵まれていません。中川というところは平たく、広い平野です。標高は蘭州より高く、一年中、濃霧の天候がすくなくて、可視性がとてもよく、空港を修築する条



兰州黄河风情线(摄影 张建华)



件に恵まれています。ですから二十年前蘭州空港は市内からこちらへ移しました。

蘭州空港へ着陸する前に皆様 飛行機の中から見下ろすと蘭州空港あたりにははげ山が続いて絶えないように多いです。山の上には緑の植物がめったに見えない、これは黄土高原の面白い地形です。中国には四大高原があります。つまり 内モンゴル高原、黄土高原、青海省とチベット高原、雲南省と貴州省の高原です。

黄土高原の最東端は山西省の太行山脈で、最西端は甘肅省の烏鞘嶺までで、北は万里の長城から南は秦嶺山脈までの広い範囲は黄土高原に属しています。山西省、陝西省、甘肅省、寧夏回族自治区、内モンゴル自治区などにわたって、水土流失が最も激しい地帯です。

昔、黄土高原には広く森林に覆われていました。甘肅省博物館の中で数千年前の黄河象の化石も今ごろになれます。当時、ここは森林地帯の有力の証拠です。気候の変化により、また、万里の長城の建設に使う木材の乱伐、そして、人口がとて増えて、農耕や放牧など不合理な土地利用により進行しました。植生と森林はもはやわずかとなりました。古代には50%を超えていたと見られる森林率は5%程度となってしまいました。西北部は乾燥化や砂漠化が進んでいます。特に三月になるとこちらの砂嵐がよく巻き上がります。空中にはオレンジ色となり、偶には日本まで飛んで行くほど風も強く、現代では黄砂がよく現れます。

黄土高原の黄土の中には炭酸カルシウム、リン、カリウムなどを豊富に含んでいます。ここは中華民族の発祥地で、農耕文化と黄河文明がこちらで育てました。しかし、黄土高原の土壌はアルカリ性でしかも黄土が固く、植物が育ちにくい。乱伐してあとは森林が再生しにくいところです。黄土高原で土壌流失が激しい地方は27万平方キロメートルに及び、特にそのうちの11万平方キロメートルは深刻な状態にあります。1994年から、砂漠化や土壌流失の進行



を食い止めるために、中国政府は黄土高原の水土保持プロジェクトを実施しました。植林事業や農業税廃止などいろいろな減反政策を実施しました。そして環境保護の意識を高めるために減反の農民たちに生活費を補助します。持続可能な牧畜や農耕事業が行われました。例えば耕地に再び草木を植え、放牧でなく、杭に羊をつなぎながら飼うこと、農産物の構成と食糧、経済作物の発展比率を正しく計画します。

皆様、車窓からご覧になってください。高速道路の両側には黄土高原の山がずっと起伏していますが、数年前、山の上に植物が全然ありませんでした。蘭州市民と兵隊たちは植樹のボランティアとして、春になると大勢の人々がこちらに集まって木をたくさん植えられましたので、はげ山は青山となって景色も美くなりました。

山の麓と真ん中には穴がたくさん見えます。それはヤオドン(窑洞)と呼ばれています。つまり黄土高原地域に見られる山崖に掘った洞穴式住居です。中に住めば夏には涼しい、冬には暖かい、今でも中に暮らしている人々もいます。山の真ん中のヤオドンは住居じゃなくて、羊の雨宿りのところと言われました。もう一つの説は砂を取るところだそうです。砂を取っていただいて畑に敷いて土壌の水分を保たせることができます。

これから甘肅省の概況について簡単に説明いたします。

甘肅省は中国西北部の内陸部にあり、黄河の上流流域に当たります。東は陝西省、北東寧夏回族自治区、西は青海省と新疆ウイグル族自治区、北は内モンゴル自治区に隣接しています。またモンゴル共和国と国境を接しています。形はダンベルのようで、東西の長さは1655キロ、南北の幅は530キロ、最も狭いところは25キロしかありません。人口は2606.25万人(2006年の統計)、総面積は45.4万平方キロで、日本よりずっと広く、中国で七番目におおきな省です。

甘肅省の地形が複雑なので、山地、高原、平野、河谷、ゴビ砂漠な



どさまざまあります。南西が高い、北東が低い、一番高い峰は祁連山脈の團結峰、海拔は5547mです。最も低いところの海拔はたった550mしかありません。基本的に六つの地形に分けられています。つまり隴南山地、黄土高原、甘南草原、河西回廊、河西回廊の北部地帯と祁連山地です。

甘肅省は内陸部にありますが、降雨量がとても少ないです。ほとんど乾燥の気候で、温帯大陸性の季節風気候に属しています。冬は寒くて長く、夏は短くて気温が高い、秋は気温が下がるのが速い、年間の平均気温が4度～14度の間です。北西部から南東部までの降雨量は36.6ミリ～734.9ミリで、少しずつ減っております。

甘肅省は古い甘州(今の張掖)と肅州(今の酒泉)の頭文字を合わせて名づけられました。秦の時代には隴西郡を設立しました。唐の時代には隴右道が設けられて、甘肅省のほとんどの所は隴山の西に位置しておりますが、隴西、隴右とも呼ばれています。甘或いは隴と略称します。宋の時代、西夏民族が河西回廊を支配しているとき甘肅軍司をすでに設立しました。これは甘肅省の最も古い名前です。元の時代に入りまして、省の制度を初めて設けて、1281年、正式に甘肅省の名前が使用されてました。

甘肅省の歴史は悠久で、有名な大地湾遺跡は、渭水上流、甘肅省東部の秦安県で発見されました。この遺跡は8000年前のもので、つまり中華民族の歴史も8000年前から始まりました。その後の馬家窯文化遺跡、齊家文化、竜山文化なども出土しました。彩陶王国の秘密を明らかにしました。周の時代に 秦の始皇帝の先祖は天水あたりで牧畜をしていました。馬を飼うことを得意とする先祖が周の王様に認められて、嬴という名字と秦という領土を与えられました。周王朝のために馬を育てながら、同時に一生懸命がんばって、結局戦国時代に強い国となりました。紀元前221年、秦の始皇帝によって、全国統一がなされました。今の天水、隴南あたりは秦の帝国の発



祥地と言われています。漢の時代になると、匈奴の軍事力が強くて、前漢王朝を厳しく脅かしていました。それに対して、漢の武帝は西方の不安を取り除くために、匈奴族を討伐しました。霍去病將軍は軍隊を率いて河西回廊に入り、大勝利を得ました。紀元前 121 年、酒泉郡と武威郡を設立しました。紀元前 111 年、また敦煌郡と張掖郡を設けました。敦煌は河西四郡のうちの一つです。前漢帝国は更に万里の長城を敦煌まで延長し、敦煌の西側には陽関と玉門関という二つの関所を置いて、シルクロードを滞りなく通じさせることを保証しました。敦煌は西域において重要な役割を果たしていました。隋の時代には隋煬帝も西域との往来を重視していました。河西回廊を巡視して、西域の 27 国の国王、使者たちと張掖の焉支山で会見しました。また、西域の 44 国の商人たちは焉支山の麓に集まって“万国博覧会”に参加しました。博覧会という専用名詞は隋の時代から使い始めました。唐の時代になると武威、張掖という町は国際貿易都市となり、特に敦煌は漢民族と少数民族貿易の第一大会都となりました。当時の揚州と同じ程度に優れています。

甘肅省は悠久な歴史だけでなく、さまざまな文化もあります、伏羲文化や、西王母文化や、秦の文化などもあります。特別な地理的特徴をもつ場所で、古い時代からこちらは中原文化と西域文化相互の交流の合流点です。シルクロード文化の遺跡は甘肅省にたくさん残されていて、最も豊富で珍しいものです。

石窟芸術がとても多いです。そのなかで一番有名な石窟は莫高窟です。そのほかに麦積山石窟、炳靈寺石窟、榆林窟など 100 か所ほどの石窟群があります。石窟芸術の故郷即とたたえられていました。

甘肅省はまた古代の科学研究と思想成熟の場です。伏羲の八卦、崆峒山の道教、＜涼州詞＞の中に“君に勧む、更に尽くせ一杯の酒、西の方 陽関をいずれば故人なからん”という有名な漢詩など、



また、＜西遊記＞の物語の中に甘肅省についての文章が多いです。クマラジュウはこの地で17年間住んだことがあります。イスラム教の寺院もあちこちでご覧になれます。

甘肅省は細長くて、広々としたところです、黄土高原、チベット高原と内モンゴル高原の合流点に当たります。自然の景色がとても素晴らしいです。例えば、黄河石林、祁連山脈の雪山、河西回廊のゴビ砂漠、“七一”氷河、砂漠の蜃気楼、ヤルダン地形、鳴砂山と月牙泉、胡楊林などこちらに集まっています。

中国には56の民族がありますが、甘肅省の中に40ぐらゐの民族があります。漢民族のほかに回族、チベット族、モンゴル族、トゥー族、トンシャン族、保安族、ユグー族、満族などがいます。その中に、トンシャン族、保安族、ユグー族は甘肅省の特有の少数民族です。風俗習慣がそれぞれ違って、民族文化がさまざまです。甘肅省は多民族が集まって住んでいるところで、面白い民族の楽園です。

（蘭州の概況を説明します）

間もなくホテル到着しますが、皆様、手荷物を忘れないように全部持っていていただいてバスを降りる準備をしましょう。

託送のスーツケースはご心配なく、ホテルのポーターさんがお部屋まで送ります。

泊まるホテルの中に入りますと、空いているコーヒーショップを利用させていただけますが、どうぞそちらでおかけ下さい。休憩しながら少々お待ちになって下さい。チェックインにちよつと時間がかかります。終わつてからすぐ部屋割りします。

（しばらくして）

どうも、お待たせしました。お疲れ様でした。

まず鍵を配ります。………

みんな鍵をもらいましたか、これから泊まるホテルご案内します。